

(施策評価表5)

【施策番号 I-1-①-5】

取組みの方向性	活力を創る	戦略	【戦略1】ビッグチャンスを生かす ～県経済の力強い成長をリードします～	主な施策	◆起業を応援する ～起業化に向けたチャレンジへの支援～
			①産業力の強化		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
・地域の活力を高める起業化に向けたチャレンジを後押しするため、事業計画のアドバイス、資金の調達、インキュベーション施設の提供、投資家などとのマッチングなど、関係機関と連携して、起業の検討から成長まで継続的・一体的な支援を強化します。	創業・新分野進出推進事業	産業支援課	2,630 2,770	・中小企業新事業活動促進法の中核的支援機関として認定している(財)くまもとテクノ産業財団(現・(公財)くまもと産業支援財団)を通じて、起業化・創業から販売・流通まで各企業の成長段階に応じた相談・助言を行った(相談件数3,642件)。 ・(財)熊本県起業化支援センターを通して、資金提供、財務・経営等に関する総合的なコンサルティング等を実施するとともに、企業の販路開拓、ビジネスパートナーのマッチングを支援するため、「くまもとベンチャーマーケット(二火会)」を4回開催した。また、株式投資が3件であった。 ・(財)くまもとテクノ産業財団(現・(公財)くまもと産業支援財団)を通して、県内のインキュベーション施設(夢挑戦プラザ21・県北・県南、くまもと大学連携インキュベータ)における支援人材の配置や相談支援を行った。	・関係機関と連携し、創業予定者やベンチャー企業等に対する資金調達支援、インキュベーション施設の提供、投資家とのマッチングに引き続き取り組む。 ・起業化に向けたチャレンジを強力に後押しするため、起業化支援センターの投資上限額の増額を検討する。	・くまもと産業支援財団、県内の各インキュベーション施設、熊本県起業化支援センター等を通じて、各企業の成長段階にあわせた継続的な支援を行っていく必要がある。 ・特に資金調達支援充実のために、関係機関と協議のうえ、所要のスキーム見直しを検討する必要がある。	・H27年度までに県のインキュベーション施設(夢挑戦プラザ21・県南・県北)の入居率が85%以上になるよう取り組んでいく。 ・関係支援機関と連携した創業・新事業創出二ーズの掘り起こしや広報活動を強化する。
	事業革新支援センター事業	産業支援課	18,633 13,652				
		主な施策のまとめ		●くまもと産業支援財団を通じて、起業化・創業から販売・流通まで各企業の成長段階に応じた相談・助言を実施。 ●熊本県起業化支援センターを通して、3件の株式投資を実施。財務・経営等に関する総合的なコンサルティングや「くまもとベンチャーマーケット(二火会)」を開催。	●関係機関と連携し、創業予定者やベンチャー企業等に対する資金調達支援、インキュベーション施設の提供、投資家とのマッチングを引き続き実施。 ●起業化に向けたチャレンジを強力に後押しするため、起業化支援センターの投資上限額の増額を検討。	●くまもと産業支援財団、県内の各インキュベーション施設、熊本県起業化支援センター等を通じた、各企業の成長段階にあわせた継続的な支援。 ●資金調達支援の充実のための所要のスキーム見直し。	●県のインキュベーション施設(夢挑戦プラザ21・県南・県北)を活用し、関係支援機関と連携した創業・新事業創出二ーズの掘り起こしや支援活動を展開。